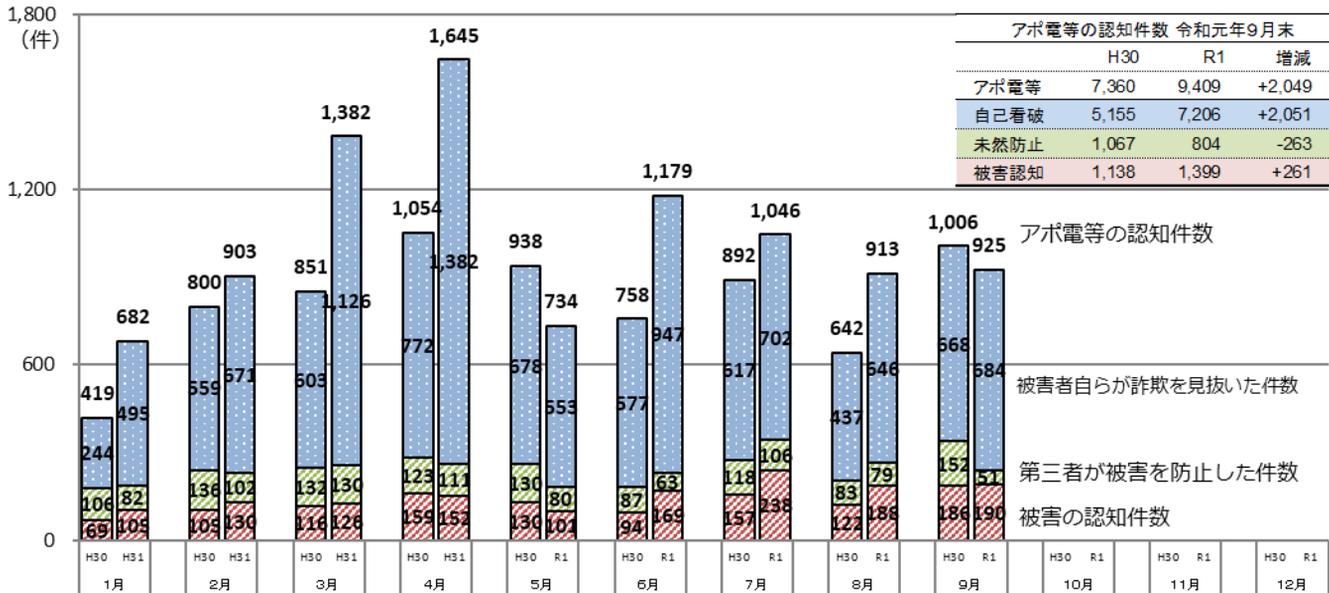




大阪府内の特殊詐欺認知状況【9月末】

アポ電等の認知件数

※ アポ電等とは、特殊詐欺（詐欺・恐喝及び窃盗）の犯人が発信したと思われる電話、メール（SMS）、葉書（封書）のこと。



9月のアポ電等の認知件数は、8月と比べて約1.3%（12件）増加し、925件でした。そのうち約73.9%（684件）は被害者自らが詐欺と気づき、約5.5%（51件）は家族・金融機関・コンビニなどの第三者が被害を防いでいます。しかし、被害の認知件数は全体の約20.5%（190件）であり、アポ電等の認知件数の約2割を占めています。9月末時点でのアポ電等の累計は、昨年と比べて2,049件増加しています。

特殊詐欺（詐欺・恐喝）の被害認知状況

特殊詐欺（詐欺・恐喝）の認知件数と被害金額			
	H30 9月末	R1 9月末	増減
認知件数	1,048	1,136	+88
被害金額(千円)	2,526,172	1,707,856	-818,316

【9月中に認知件数が多かった手口】

- 1 役所・銀行などを騙り、「還付金の手続き」等と言って被害者にATMを操作させ、犯人の口座へお金を振り込ませる手口
- 2 役所・銀行などを騙り、還付金の手続き名目でキャッシュカードをだまし取る手口
- 3 「利用料金の確認が取れない」「本日中に連絡がない場合は法的手続に移行」とのショートメッセージを送りつけ、被害者に電子マネーを買わせる手口

特殊詐欺（窃盗）の被害認知状況

特殊詐欺（窃盗）の認知件数と被害金額			
	H30 9月末	R1 9月末	増減
認知件数	90	263	+173
被害金額(千円)	114,675	299,975	+185,300

【9月中に認知件数が多かった手口】

- 1 警察官・金融庁などを騙り、口座の保護名目でキャッシュカードをすり替えて盗む手口
- 2 百貨店（家電量販店）・銀行協会などを騙り、口座の保護名目でキャッシュカードをすり替えて盗む手口
- 3 役所・銀行などを騙り、還付金の手続き名目でキャッシュカードをすり替えて盗む手口

- 9月末現在、特殊詐欺（詐欺・恐喝）の認知件数は昨年より88件増加しました。特殊詐欺（窃盗）の認知件数も173件増加しており、特殊詐欺全体では**261件の増加**となります。
- 9月中、警察官を騙り、「あなたの口座が偽造されている」「**口座番号は～ですね**」などと、被害者の**口座番号を言い当てる手口**を認知しました。被害者は、口座番号を言い当てられたため、本当の警察官と信じ込んで被害に遭っています。このような手口による被害を防ぐため、周囲の方々に注意喚起していただくをお願いします。